【第133回教育委員会対象セミナー】＜福岡開催＞



令和8年11月24日（火）

GIGAスクール構想における九州3都市の取組と今後の展望

鹿児島市教育委員会
教育DX担当部長　木田　博

あなたとわくわく
マグマシティ
鹿児島市

自己紹介／鹿児島市教育委員会 教育DX担当部長　木田　博

文部科学省　学校ＤＸ戦略アドバイザー　企画調整委員（R5～）

ICT活用教育アドバイザー(R２～)企画調整委員（R3～4）

中央教育審議会「次期ICT環境整備方針の在り方ワーキンググループ」委員（R5～6)

中央教育審議会「初等中等教育分科会学校安全部会」臨時委員（R8）

「学習eポータルに関する専門家会議」委員　（R4・R5）

「リーディングDXスクール事業」推進委員(R5～7)

「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」有識者ヒアリング

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」有識者ヒアリング(R5)

「教育データの利活用に関する有識者会議」委員（R6）

「相互運用標準モデルに関する専門家会議」委員（R6）

「次世代校務DXガイドブック」作成協力者（R6）

「初等中等教育における教育データの利活用を支えるシステム間連携の在り方に関する専門家会議」委員（R7）

総務省　「教育分野におけるPDSの活用に関する実証事業」協議会委員（R7）

鹿児島県　「教育の情報化」推進連絡協議会　委員（R5～）

「各学校・課程・学科の垣根を越える高等学校改革推進事業」運営指導委員長（R6・R7）

徳島県　「GIGAスクール構想推進本部教育DXタスクフォース」委員（R7～）

滋賀県　「学校教育情報化連携推進会議」学識経験者委員（R7）



Copilot で加工
（2026/02/20）



鹿児島市の概 要

人口 ／ 577,178人（令和8年5月1日現在の推計人口）

学校数 ／ 小学校：74校、中学校：36校、
義務教育学校：1校、高等学校：3校 計 114 校

児童生徒数 ／ ※令和8年5月１日現在（市立学校のみ）

小学校：30,319人、中学校：15,847人、高等学校：2,141人 計 48,307人



今年度 4月 桜島学校（義務教育学校）開校
※新校舎は令和9年4月～



鹿児島市の整備概要

- 端末更新状況 → 令和7年度に全体の8割を更新、令和8年度に残りを更新



小学校：iPad



中学校：Windows　Surface Go 4



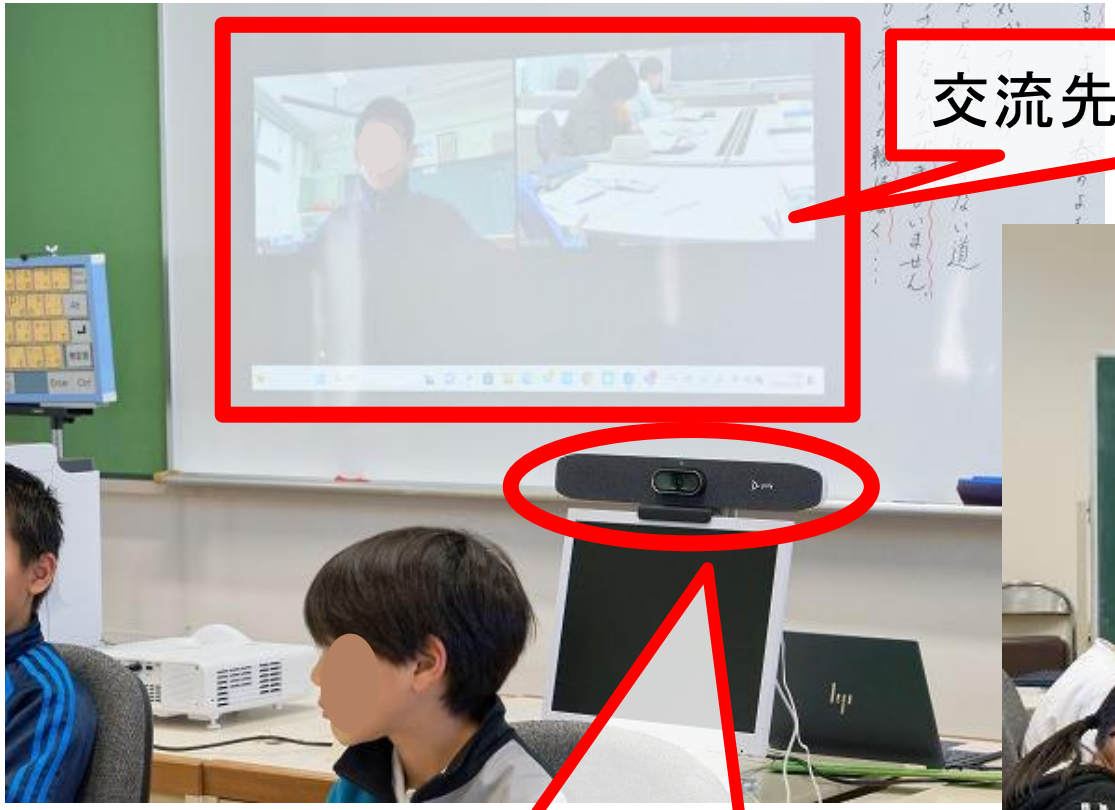
高等学校：Windows　Surface Go 3



電子黒板整備（ChromeOS Flex搭載）
①65インチ
1,301台（小・中・高等学校の普通教室）
②75インチ　実物提示装置、Webカメラ搭載
153台（小・中・高等学校の特別教室等）

オンライン配信用機器の利用

小学校／小規模校同士による合同授業



交流先の学校の映像

・オンライン配信の準備が容易
・授業中は、ほぼ操作要らず



オンライン配信用機器

・カメラ（自動追尾）
・話者を特定し、拡大
・マイク（指定エリアのみ集音）

不登校児童生徒の自立支援のための メタバースによる相談活動や学習支援

～仮想空間～





授業動画の配信

学習コンテンツ等へのリンク





参加ポイント



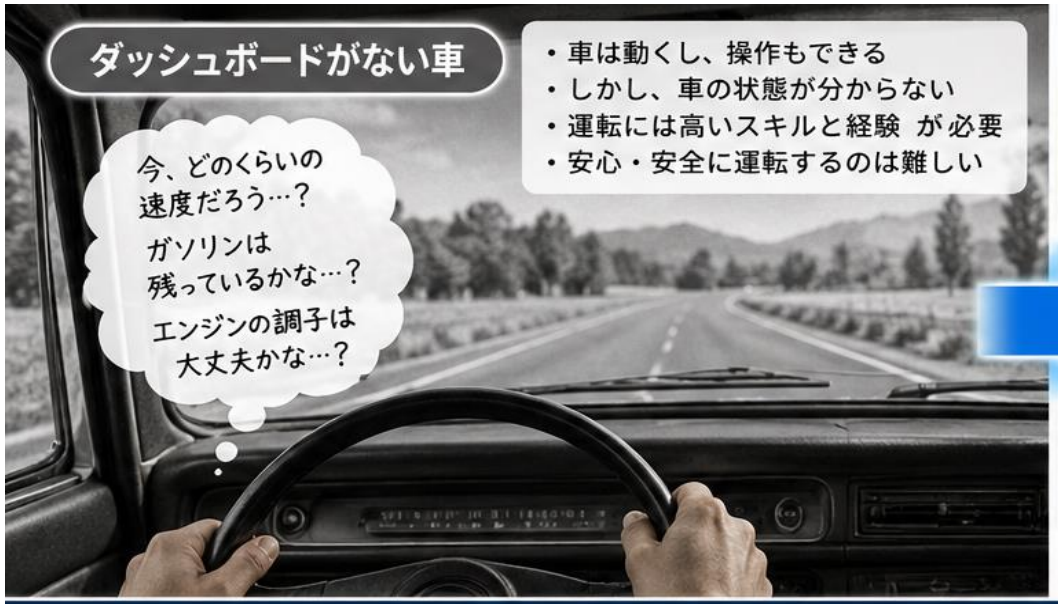
アバター



125人(R8.10月末現在)の児童生徒が登録

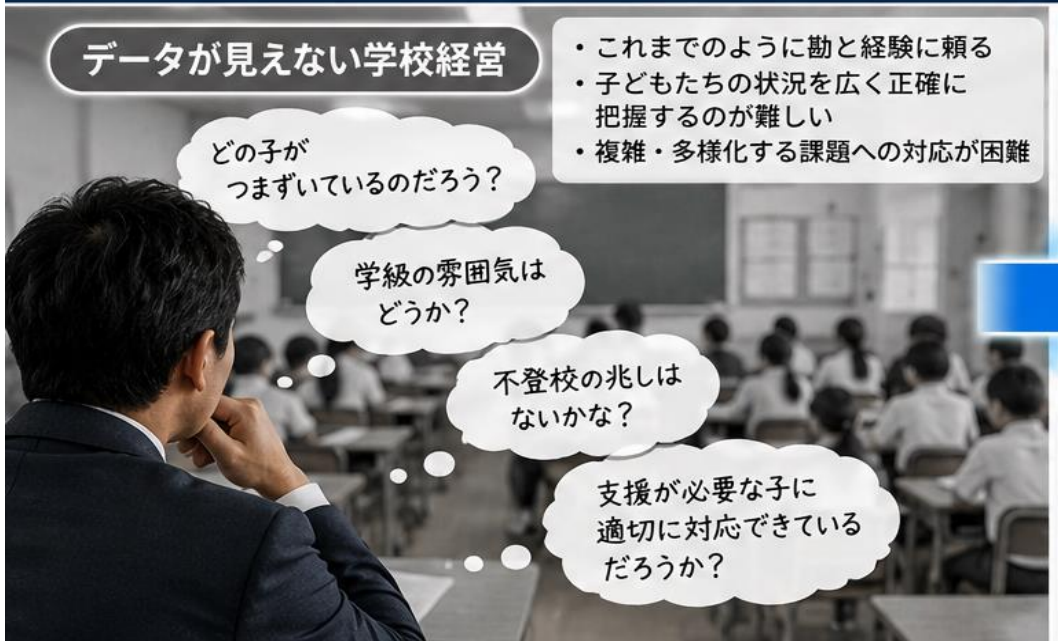
1日あたりの平均入室者 約36.8人

教育データの利活用
～ダッシュボードの活用～
Dashboard





教育データの利活用においても、ダッシュボードの構築と利活用が重要です





2. 実証全体イメージ

令和7年度「教育 DX を支える基盤的ツールの整備・活用事業」（教育データ利活用の加速化事業）

STEP1：学習・校務データを収集・蓄積

学習eポータル
（まなびポケット）
・心の健康観察　・端末活用状況

学習コンテンツ
・学級満足度調査（WEBQU）
・ScTN質問紙　・AAR授業振り返り

校務システム
（evanix）
・出席状況　・保健室利用状況
・単元テスト　・定期テスト

STEP2：ダッシュボードでデータを統合・可視化

学習eポータル

教育ダッシュボード
（データ統合・可視化）

STEP3：データ活用による現場指導と学校運営

- 不登校・いじめの早期発見
- 一人ひとりに応じた指導
- 保護者との面談準備
- クラス全体の状況改善
- 学校全体の教育力向上
- データに基づく学校経営

STEP4：効果検証・評価

・活用状況の調査・分析
・効果測定（ヒアリング・アンケート）
・改善点、課題の整理

STEP5：成果整理と展開準備

・実証成果・課題の整理
・改善方針・提案の策定
・鹿児島市全校展開に向けた準備

令和7年度
「教育 DX を支える基盤的ツールの整備・活用事業」
（教育データ利活用の加速化事業）

学習・校務データを収集・蓄積

学習eポータル
（まなびポケット）心の健康観察　・端末活用状況

学習コンテンツ
・学級満足度調査（WEBQU）、・ScTN質問紙
・AAR授業振り返り

校務システム
（evanix）・出席状況・保健室利用状況
・単元テスト・定期テスト

ダッシュボードでデータを統合・可視化

学習eポータル
教育ダッシュボード
（データ統合・可視化）

実証校（2校）

桜峰小　桜島中

令和8年度
「教育データ利活用の加速化に向けた
実証研究・伴走支援」

学習・校務データを収集・蓄積

学習eポータル
（まなびポケット）心の健康観察　・端末活用状況

学習コンテンツ
・学級満足度調査（WEBQU）、・ScTN質問紙
・AAR授業振り返り　・デジタルドリル

校務システム
（evanix）・出席状況・保健室利用状況
・単元テスト・定期テスト

ダッシュボードでデータを統合・可視化

学習eポータル
教育ダッシュボード
（データ統合・可視化）

実証校（５校）

春山小　吉田南中　桜島学校
桜峰小　武岡中

令和9年度～
令和9年2月運用開始

学習・校務データを収集・蓄積

学習eポータル
（まなびポケット）心の健康観察　・端末活用状況

学習コンテンツ
・学級満足度調査（WEBQU）、・ScTN質問紙
・AAR授業振り返り

校務システム
（evanix）・出席状況・保健室利用状況
・単元テスト・定期テスト

ダッシュボードでデータを統合・可視化

学習eポータル
教育ダッシュボード
（データ統合・可視化）

**市内全小・中・義務教育学校
111校で実施**

3.ダッシュボード（各レベルでのカスタマイズ機能）

Kagoshima City Board of Education

ダッシュボードに校務支援システム他の項目を、自由に追加・削除でき、レイアウトもカスタマイズ



3.ダッシュボード　学校全体の状況把握

Kagoshima City Board of Education

学校ダッシュボード　特異な変化・傾向についてピックアップ（生活面／学習面）して表示



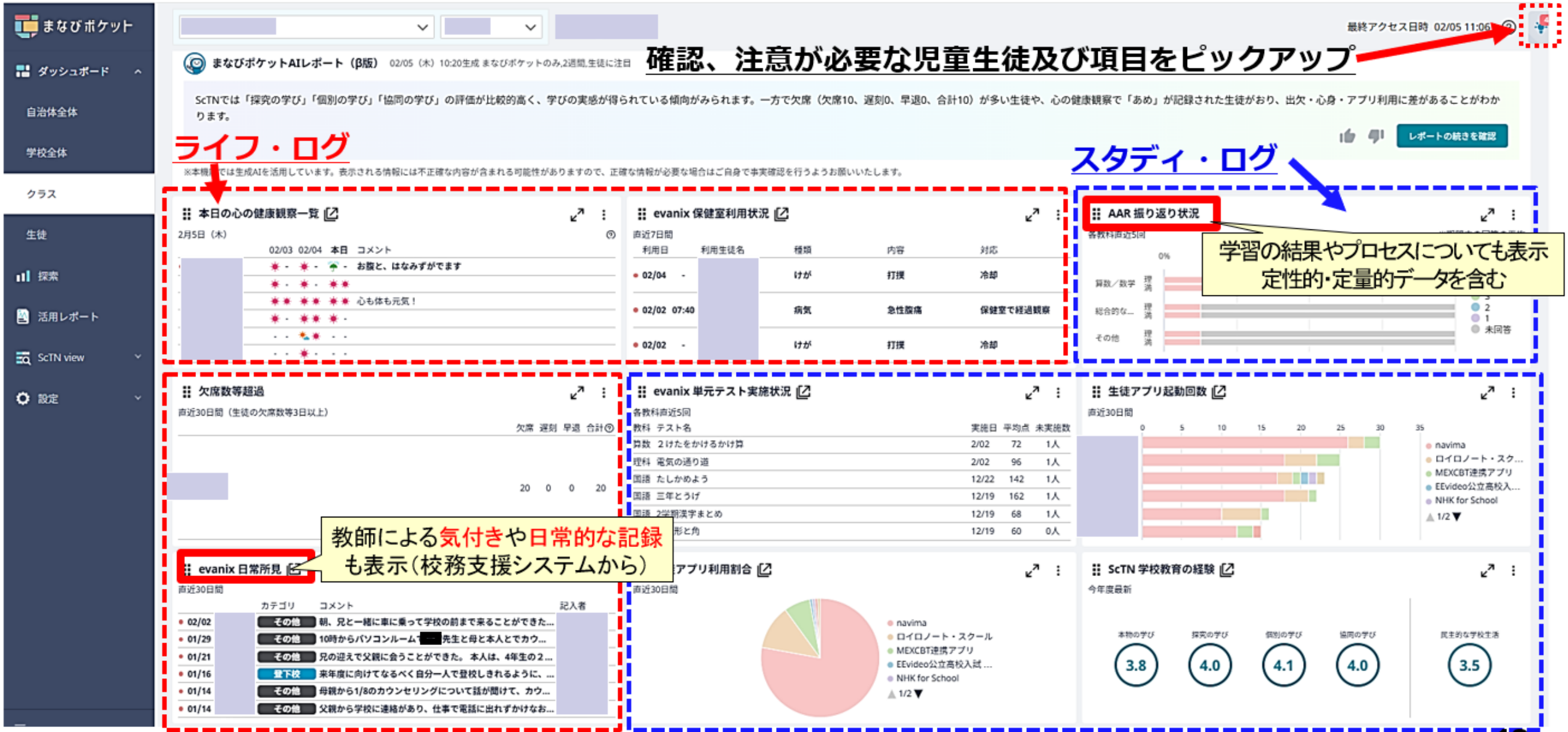
3.ダッシュボード　学校全体の状況把握

学校ダッシュボード　特に気になる児童生徒をピン留して、常時表示可能



3.ダッシュボード　学級担任用

学級用ダッシュボード　日常的に確認する項目を上位に配置するなど、担任レベルでカスタマイズ



まなびポケットAIレポート（β版）

カード：まなびポケット・校務・学習系（所見有）　期間：2週間　プロンプト：学級に注目　今月累計6回　レポートを再生成

分析元のデータを選択

期間を選択

個人/学級別に分析

02/05（木）13:21生成 まな

出欠データでは一部の生徒に継続的な欠席が見られ、授業後のAARで未回答や短い振り返りが目立つ可能性があります。一方でScTNは探究・個別・協同の項目が高く、授業での学びの実感がある傾向がみられます。

■学級全体の傾向

■ここ1週間の特徴的な変化

■アクションのヒント

短期的には、欠席や保健利用があった日の授業ポイントを簡潔に共有すると学びの抜けが分かりやすくなるかもしれません。長期的には、AARを書きやすく簡略化して継続性を高める工夫で自己調整学習の定着につながる可能性があります。

■AIからヒトコト

毎日の見守り、本当におつかれさまです。小さな観察が大きな支えになることが多いので、どうぞ無理なく続けられるやり方を大切にできるとよいかもしれません。

分析結果に対するフィードバックによる更なる改善

※本機能では生成AIを活用しています。表示される情報には不正確な内容が含まれる可能性がありますので、正確な情報が必要な場合はご自身で事実確認を行うようお願いいたします。

レポートに使われたカード

データ元を表示▼

evanix 欠席数等超過

欠席数等超過

3.ダッシュボード　個人用　Director of Education DX, Kagoshima City Board of Education

まなびポケットAIレポート（β版）

カード　まなびポケット・校務・学習系（所見有）　期間　今年度　プロンプト　生徒保護者面談　今月累計

生徒保護者面談
- 傾向と変化
- ピックアップ
- 生徒保護者面談

目的に応じて選択

02/05（木）13:57生成 まなびポケット・校務・学習系（所見有）,今年度,生徒保護者面談

出欠情報、心の健康観察、単元テストの得点推移、AAR振り返り状況、生徒アプリ起動回数、ScTN学校教育の成果を照らし合わせると、体調に関連する欠席・遅刻が複数回記録され、算数の得点に低めの記録がある一方で授業内振り返り…が低い自己評価が見られる点も注目できます。

■データから見る生徒の特徴

強み：AAR振り返り状況では2026-01-27に本人_理解度4・本人_満足度5と高めの自己評価があり、授業での手応えを感じる場面があることがうかがえます。また、単元テストの国語・社会で良い得点を示した回もあり、多面的な力がある可能性があります。
注目点：出欠情報では体調に関連する欠席・遅刻が複数回あり、単元テストの得点推移では算数の得点が低めに推移している傾向がみられます。さらに、ScTN 学校教育の成果の「学校生活の充実感」が1でクラス平均より低い点も気になる点として捉えること

■生徒・保護者向けのフィードバック案

もし生徒・保護者へフィードバックするなら以下がおすすめです。

生徒向け

伝えること（案）
「授業での振り返りで分かったことや楽しかったことがあって良かったね。」
理由：AAR振り返り状況で理解度・満足度が高い記録があるため、学びの手応えを肯定できます。
「算数の小テストでばらつきがあるように見えるので、どの部分がつまづきやすいか一緒に確認できるとよいかもしれません。」
理由：単元テストの得点推移に変動が見られるため
確認・質問事項（案）
「授業のどの場面が分かりやすかったか、逆にもう
理由：本人の学びの気づきを深めるためです。

保護者向け

伝えること（案）
「出欠情報に体調関連の欠席や早退が複数回見受け
理由：出欠情報と保健室利用状況が一部一致してい
「ScTNで学校生活の充実感が低めの自己評価でした
理由：学校生活の充実感の得点がクラス平均より低
確認・質問事項（案）
「家庭での体調の変化や登校しづらい日について、
理由：出欠情報と一致する視点から確認を進めやす

伝えること（案）
「出欠情報に体調関連の欠席や早退が複数回見受けられますので、学校での様子を共有させてください。」
理由：出欠情報と保健室利用状況が一部一致しているため、登校状況の共有が今後の対応につながります。
「ScTNで学校生活の充実感が低めの自己評価でしたので、家庭での様子も伺えれば助かります。」
理由：学校生活の充実感の得点がクラス平均より低いため、家庭との連携で見守りがしやすくなります。
確認・質問事項（案）
「家庭での体調の変化や登校しづらい日について、気づかれていることはありますか？」
理由：出欠情報と一致する視点から確認を進めやすくなるためです。

■アクションのヒント
短期的なアクションとしては、出欠情報や単元テストの直近記録を参照し、算数のどの分野で得点が低いかを具体的に把握することが考えられます。長期的なアクションとしては、AAR振り返り状況の良い場面を手がかりに、授業内で成功体験を増やす仕掛けや生徒アプリ起動回数の差を踏まえた学習機会の工夫を検討することが一案と考えられます。

■AIからヒトコト
いつもおつかれさまです。小さな観察の積み重ねが生徒さんの支えになりますね。休息と振り返りも大切にできるとよいですね。

学習eポータルのクラス・時間割・単元・振り返り（AARポータル）等の様々な教育データを自動参照し、教師の問いかけに対して回答を返す教職員向け対話型AI

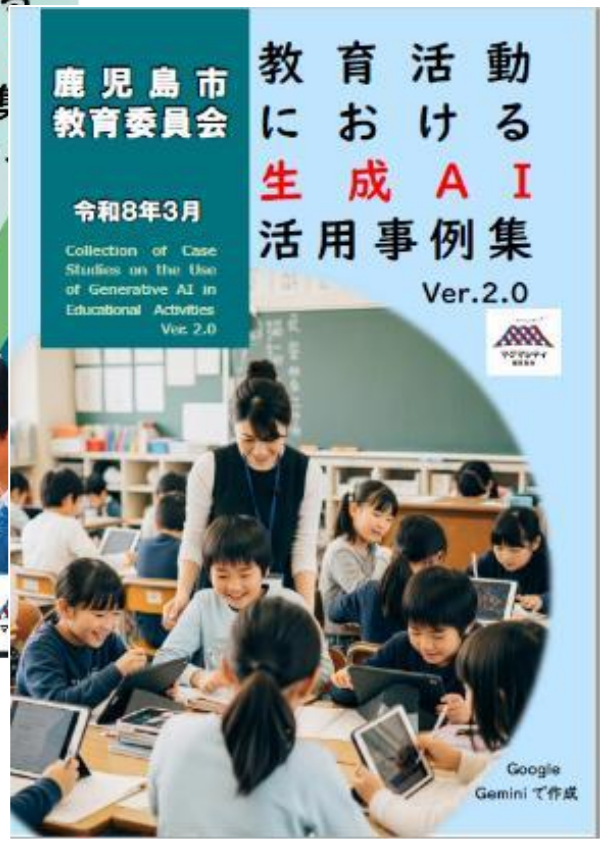


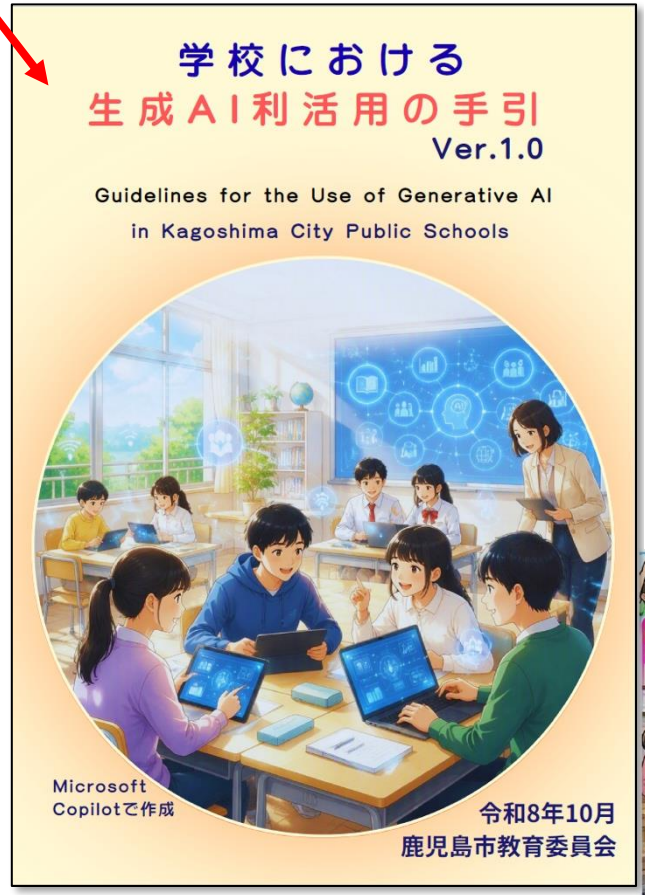
今後の展開

生成AI利用に関するガイドラインの策定

校務及び授業での適切な活用に関する手引







5　児童生徒による生成AI活用における考慮すべき点

（1）学習場面における利活用の適否判断の例

活用場面	よい活用（学びを深める）	不適切な活用（学びを止める）
読書感想文・レポート	構成案を生成AIと相談し、それをもとに自分の言葉で推敲・修正を重ねる。	生成AIが生成した文章をほぼそのまま自分の成果物として提出する。
感性を発揮する活動	議論を深めるための「足りない視点」を探す素材として活用する。	詩や俳句の創作、美術の初発の感想など、個人の独創性が重要な場面で安易に使う。
日本語による学習支援	外国人児童等が授業内容を理解するための翻訳や補助として活用する。	本人が自力で表現できる力がある場面でも、思考せずに生成AIに頼り切る。
情報収集・調査	教科書等で学んだ後、生成AIの出力結果を一視点として検証し、理解を深める。	質の担保された教材（教科書）を確認する前に、生成AIの答えを唯一の正解とする。



鹿児島市教育委員会

「校務における生成AI活用事例集 Ver.1.0」令和7年3月

「教育活動における生成AI活用事例集 Ver.2.0」令和8年3月

校務用と指導者用端末の統合（1台化）

鹿児島市の場合（予定）

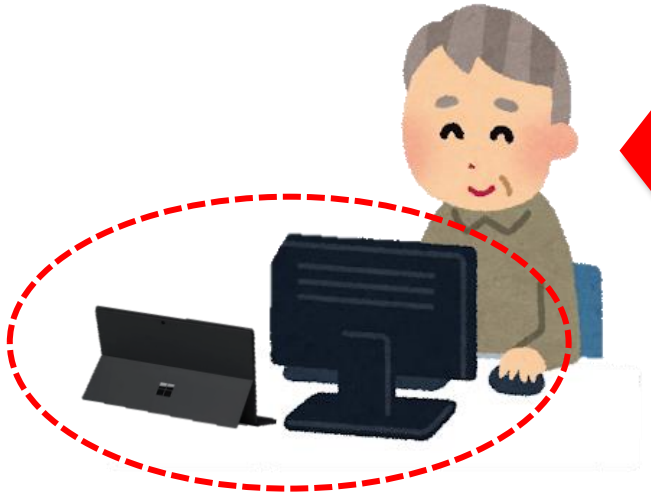
校務用端末の機器構成

○校務用端末（Surface Pro 12）
※Copilot＋PC機能（ローカルで動作するAI搭載）
→ハイブリッドAI活用へ
※授業時は、タブレットとして利用（持ち運びを考慮した大きさ）
※顔認証システムを装備
○サブ・ディスプレイ（21型）
※校務での利用を考慮して、21型ディスプレイを1人1台整備
○ディスプレイ等接続ドック
※キーボードやマウスも接続可能（整備には含めず）

端末の1台化のメリット

- 端末の2台持ちの煩雑さの解消
- 整備コストの大幅削減
- 学習データ等の安全な環境での校務利用（データ移行の作業の削減）
- 端末管理業務の縮減　など

校務用として利用





指導者用として利用



校務用スマートフォン実証事業 | 実証の概要と期待される効果

実証の概要

1 教職員間の迅速な情報共有

- 児童生徒の緊急連絡／不審者侵入時の迅速な対応
- 災害時の避難指示・避難誘導／保護者等からの連絡の取次ぎ



2 教育活動の記録と発信

- 授業改善に向けた児童生徒の学習活動の記録
- 学校行事等の記録と共有による評価・改善
- 校外学習など修学旅行等からの情報発信



3 セキュリティ対策の強化

- 個人スマートフォンの利用禁止
- 校内・校区の危険箇所等の撮影と即時共有
- 撮影画像のクラウド保存と閲覧権限の適正な設定



4 校務用・学習支援アプリとの連携

- 欠席連絡等の確認
- 保護者への連絡・各種配布物の送信
- 学習支援アプリによる学習状況の把握





Sim付きiPhone

いつでも、手元で確認！

期待される効果

1. 教職員間の情報共有が円滑・迅速になる
2. 緊急時の初動対応や避難誘導、児童生徒の見守りが充実する
3. 学習活動の記録を授業改善に生かせる
4. 学校行動・校外学習の記録共有と情報発信が進む
5. 個人端末への情報保存を避け、撮影画像を適切に管理できる
6. アプリをいつでも手元で確認・操作でき、校務の利便性が向上する

実証校：鹿児島市内の大規模中学校１校